

日本第四紀学会論文賞・奨励賞を受賞しました（2024/8/31）

テーマ：第四紀学、地質学、火山学

場所：本学青葉山キャンパス 理学研究科合同C棟 サイエンスホール

2024年8月31日（土）、日本第四紀学会2024年大会（仙台）において授賞式が開催され、高橋尚志助教（陸域地震学・火山学研究分野）に日本第四紀学会の論文賞および奨励賞が授与されました。日本第四紀学会論文賞は、過去2年間の当学会が刊行する学術雑誌「第四紀研究」に掲載された論文と著者を対象として、会員からの推薦を参考に学会の論文賞選考委員会によって選考されます。加えて、35歳以下の筆頭著者会員は奨励賞の対象となります。いずれも、毎年1~2件程度に授与されます。

今回の受賞理由として、該当論文が、テフラ編年学と火山災害予測、ならびに第四紀学の発展に大きく寄与したことが挙げられており、第四紀層位学的手法に基づく火山噴火史の解明や火山ハザード研究への貢献が評価されました。この受賞を励みに、今後も引き続き、地形・地質学的観点から、自然災害に関する基礎的研究のさらなる発展に貢献していく所存です。

受賞者：高橋尚志（陸域地震学・火山学研究分野，助教）

受賞論文：論説 高橋尚志・青木かおり・村田昌則・小林 淳・鈴木毅彦（2022）伊豆諸島北部，利島における更新世末期の流紋岩質テフラの層序，第四紀研究，No.61-3，pp.87-107.



授賞式の様子（左：高橋助教）



論文賞および奨励賞の表彰状

文責：高橋尚志（陸域地震学・火山学研究分野）